

No. 1335 1・15日発行
令和7年 3月 1日(土)発行所 ラベル新聞社
東京都千代田区東神田3-1-13
神田浅草橋ビル 〒101-0031
電話(03)3866-6577 FAX(03)3866-0105
https://labelshimbun.com
発行人 田副 徹
編集人 上田 勇人
年間購読料16,500円 1部 700円(税込)

ラベル新聞

THE LABEL SHIMBUN
©ラベル新聞社2025 【昭和44年9月30日第三種郵便物認可】

出版5社のコミックにRFIDラベル

PubteX「BOOKTRAIL」商用サービス開始



RFIDタグ・ラベルをコミックに装着していく

PubteX(東京都千代田区内神田、渡辺順社長、03-5568-0320)は、RFIDを活用した書籍トレーサビリティシステム「BOOKTRAIL」の商用サービスを開始した。書籍に装着され、個体識別を可能にするRFIDタグ・ラベルを活用し、出版物の流通状態を可視化するもの。同社は先行して2023年8月から、出版社3社にRFIDタグの供給を開始し、新刊コミックを対象に貼付。今回、パイロット運用を経て書店向けと出版社向けの機能をまとめた運用パッケージの正式な提供に着手する。

トレーサ確保で配本・返本最適化

PubteXは22年3月に商社の丸紅と丸紅フオレストリックス(株)、出版社の講談社、小学館、集英社で設立した企業。AIやRFID技術を活用した出版界全体の活性化に資するサービスを提供する。同社の主たる事業内容は「AI発行・配本最適化ソリューション事業」と「IoTソリューション事業」。

出版社・書店・販売会社の枠を超えたプラットフォームを構築しサービスを提供することで出版流通のDXを推進、最適化を目指す。前者は、種々のデータを横断的に活用したりAIを適用したりすることで返本率の低減を狙う。書籍で33%、雑誌では40%超とされる返本率の改善を図り、業界サプライチェーン全体の効率化を支援する。

また後者はRFIDタグ・ラベルのデータ閲覧サービス(クラウド)③読み取りデバイス、などを提供する。出版物にRFID

23年発表のある統計では、返本率が書籍で33%、雑誌では40%超を記録。いかに非効率で経済的なロスが発生しているかを示している。他方書店経営も非常に厳しく、馴染みの光景だった書店が街から消える事態が全国で生じている。こうした状況をどうにかしたい。そこでデジタルの力を活用して在庫の可視化や業務の効率化を図り、効率化した分のお金を厳しい部分に落として循環させていく。出版流通のDX化を支援し新たな流れを創り出すのが当社の使命だ。そのための施策として、一つはAIを使い発行部数、配本パターンを最適化する新規ソリューションを

店舗での「出会い」、これからは

PubteX IoTソリューション事業部担当者「コメント」

RFIDの活用。現在全然追跡できていない書籍の動きを捉え、データの蓄積を図り運用していく。RFIDタグの装着には粘着ラベルが使われている。主流の貼付方法は「おとり型」。台紙にRFIDラ

市場投入する。もう一つはRFIDの活用。現在全然追跡できていない書籍の動きを捉え、データの蓄積を図り運用していく。RFIDタグの装着には粘着ラベルが使われている。主流の貼付方法は「おとり型」。台紙にRFIDラ

3(表紙のウラ面)にRFIDラベルを直接貼付するやり方を追加採用。製本工程に追従するため、1時間に1万枚の貼付が行える高速型ラベルを使用している。こうした書籍の動きを可視化するインフラ整備、収集したデータベースを分析して活用していく連携のシステムを「BOOKTRAIL」として、出版社や書店に提供を開始する。書籍の数は決まっているのに毎日新刊が届くため、店舗では抜き取り作業と返本業務を日々行っている。また在庫は時々刻々と変化

確保なく、DXで出版流通の課題解決を支援していく。